

出雲国の地質時代からの歴史

時代と年代			地質的出来事	
第 四 紀	新 生 代	江戸時代 〔 1603 年 〕	斐伊川の東流 松江城の築城（松江堀内の埋め立て、城下町建設） （基礎は1200万年前の松江層の砂岩、 石垣は矢田石、大海崎石、忌部の安山岩、森山石）	
		戦国時代	月山富田城（月山は1500万年前の火口を埋めた火山岩からなる）	
		平安時代 奈良時代 〔 710 ～ 794 年 〕	出雲地震（880年） 出雲国風土記（733年） 古事記（712年）、日本書紀（720年）	
		古墳時代 〔 3世紀中頃 〕	鉄器 石室（荒島石など） 青銅器（銅鐸、剣、矛） 玉（玉髓） たたら製鉄	
新 第 三 紀	新 生 代	弥生時代 〔 紀元前 400 年頃 〕	最終氷期 4000 年前 7 万年前 11 万年前 三瓶山の噴火 三瓶小豆原埋没林 黒曜石、玉髓、石英、玄武岩、 安山岩などを用いた石器	
		縄文時代 〔 16000 年前頃 〕	砂原遺跡（12 万年前～ 11 万年前）	
		後期旧石器時代 〔 3.5 万年前 〕	氷期 大根島と江島における陸上での玄武岩噴火（島石） 隠岐島後、空港あたりで玄武岩の噴火 伯太玄武岩の噴火	
		中期旧石器時代 18 万年前頃 40 万年前頃 130 万年前頃		
古 第 三 紀	新 生 代	〔 259 万年前 〕	↑ 隠岐島後で激しい火山活動（久見の黒曜石） 嵩山、和久羅山デイサイト（大海崎石）	
		鮮新世 〔 533 万年前 〕	激しい火山活動 松江層の玄武岩、安山岩（矢田石、嫁が島、塩桶島） 立久恵峯 島根半島で 安山岩（花仙山の玉） 海底火山活動 来待石（凝灰質砂岩）、荒島石（軽石凝灰岩）	
		中新世 600 万年前頃 1200 万年前 1400 万年前 ～ 1500 万年前 ～ 1700 万年前	中国地方は磐半島から分かれ、八重滝、龍頭ヶ滝 時計回りに 40 ～ 50 度回転	
		古第三紀 1800 万年前 ～ 2000 万年前	ユーラシア大陸東縁の時代 大田一佐田一松江南一安来、島根半島で火山活動 河川や湖での堆積（森山石など）	
中生代	新 生 代	〔 2300 万年前 〕	山陰型花崗岩 深成活動 火山活動	
		漸新世 〔 3400 万年前 〕	月山富田城山中御殿の石垣（花崗岩）	
		始新世 〔 5600 万年前 〕	磁鉄鉱系列 花崗岩、花崗閃緑岩 ハンレイ岩 砂鉄 → たたら製鉄の原料	
		暁新世 〔 6600 万年前 〕	鬼の舌震	
中生代	中生代	白亜紀	中生代型生物の大量絶滅 山陽型花崗岩（チタン鉄鉱系） 中国地方全域での火砕流を伴う大規模な火山活動	
		始生代 30 億年前	隠岐島後、隠岐変成岩中のシリコン結晶（日本列島における最古級の自然物）	